

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月1日

福岡県知事 殿

提出者

住 所 大牟田市新勝立町1丁目38番地1
オーム乳業株式会社

氏 名 代表取締役社長 伊與田 良一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

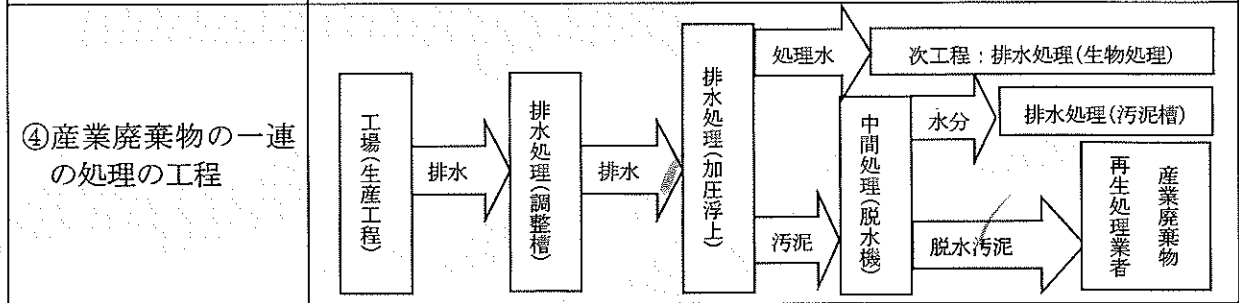
電話番号 0944-52-8282

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

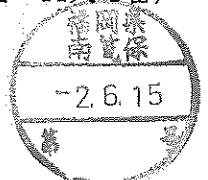
事業場の名称	オーム乳業株式会社
事業場の所在地	大牟田市新勝立町1丁目38番地1
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	処理牛乳・乳飲料製造業【0913】
②事業の規模	出荷額 364千万円
③従業員数	85人

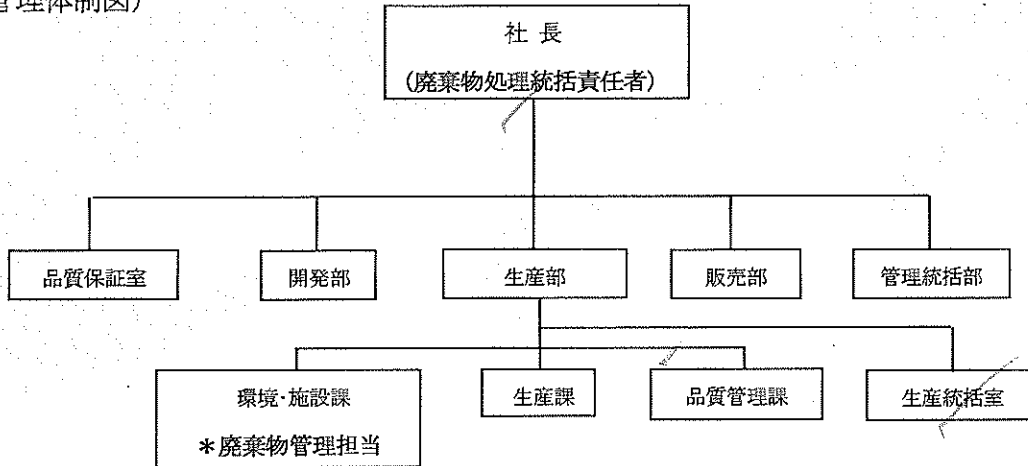


(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

②現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	汚泥(廃乳-液状)
	排出量	14,187 t	53 t
	(これまでに実施した取組) 排水処理における活性汚泥のバルキング抑制への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組。 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 製品の賞味期限延長への取組。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	汚泥(廃乳-液状)
	排出量	14,000 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別不可能な物はないので分別して再生利用業者へ委託する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 積極的に分別し再生利用業者へ委託する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	廃油(機械潤滑油)
	排 出 量	18.09 t	0.3 t
	(これまでに実施した取組) 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 製品の賞味期限延長への取組。 物性異常及び細菌的な出荷停止に対する原因追及のスピードアップ化への取組。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	廃油(機械潤滑油)
	排 出 量	18 t	0.3 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

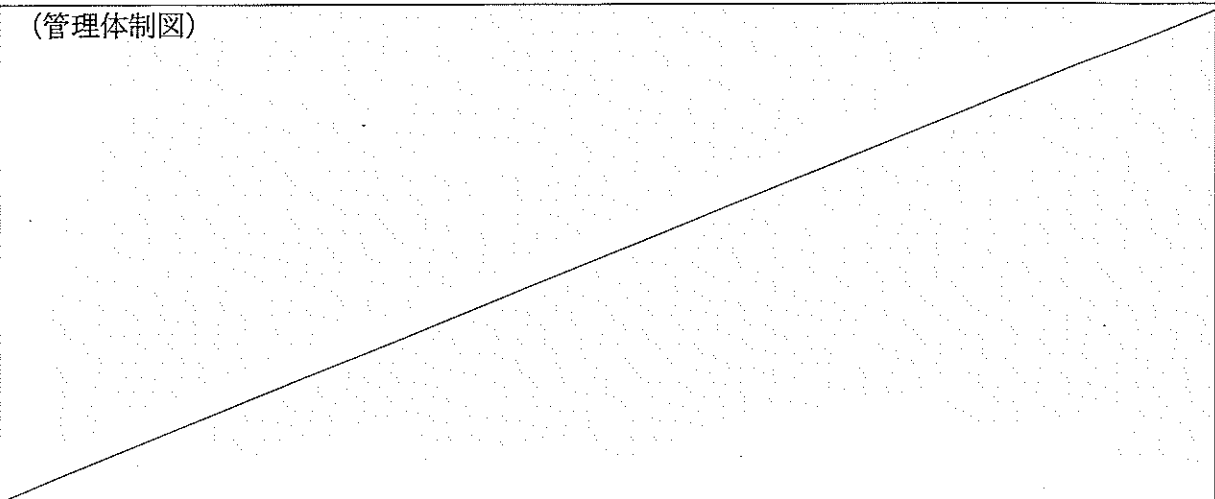
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属屑(18L原料缶)	混合廃棄物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)
	排 出 量	0 t	3.3 t
	(これまでに実施した取組) 18L原料缶の有価物化(売却) 5R活動への取り組み。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑(18L原料缶)	混合廃棄物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)
	排 出 量	0 t	3.3 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず(びん類)	紙くず類 (空調フィルター)
	排 出 量	4.26 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 原料使用に伴い排出量が増減するので取組が難しい。 5R活動への取り組み。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス屑(びん類)	紙くず類 (空調フィルター)
	排 出 量	4.0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ガラス屑：もっぱら物として搬出 紙くず類(空調フィルター)：定期交換が必要な為に削減出来ない。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず(タイル)	
	排 出 量	2.08 t	
	(これまでに実施した取組) 老朽化取替工事で発生するので取組が難しい。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず(タイル)	
	排 出 量	2.0 t	
	(今後実施する予定の取組) 老朽化取替工事で発生するので取組が難しい。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	13,241.2 t	t
	(これまでに実施した取組) 凝集剤適正使用による凝集状態の管理による含水率の維持及び低減。 脱水機維持管理による安定稼働。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13,066 t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-脱水)	汚泥(廃乳-液状)
	全処理委託量	945.8 t	49.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	945.8 t	49.8 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 凝集剤適正使用による凝集状態の管理。 脱水機維持管理による安定稼動。 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 生産工程発生ロス削減への取組(歩留向上)。 賞味期限延長への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	金属屑(18L原料缶)
	全処理委託量	18.09 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 生産工程発生ロス削減への取組(歩留向上)。 賞味期限延長への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組 18L原料缶の有価物化(売却)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)	ガラスくず (ビン類)
	全処理委託量	3.3 t	4.26 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 5 R活動への取り組み。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず類 (空調フィルター)	陶磁器くず (タイル)
	全処理委託量	0 t	2.08 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 老朽化による取り替えで発生しているので取り組みしていない。		

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-脱水)	汚泥(廃乳-液状)
②計画	全処理委託量		933 t	50 49.8 50.49 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> 凝集剤適正使用による凝集状態の管理。 脱水機維持管理による安定稼動。 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 生産工程発生ロス削減への取組(歩留向上)。 賞味期限延長への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組。			
	※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	廃油(機械潤滑油)
	全処理委託量	18 t	0.3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。</p> <p>製品の賞味期限延長への取組。</p> <p>物性異常及び細菌的な出荷停止に対する原因追及のスピードアップ化への取組。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑(18L原料缶)	混合廃棄物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)
	全処理委託量	0 t	33 4 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 18L原料缶の有価物化(売却) 5R活動への取り組み。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず(びん類)	紙くず類 (空調フィルター)
	全処理委託量	4 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) びん類をもっぱら物で搬出する。			
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず(タイル)	
	全処理委託量	2 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 老朽化取替工事で発生するので取組が難しい。		
※事務処理欄			